

難波田城だより

—難波田城公園・難波田城資料館ニュース—

平成22年12月1日発行
編集・発行/富士見市立難波田城資料館
第46号
NEWS from NANBATAJYO

大宮(さいたま)側から見た川向こうのこと 市民学芸員 磯部 正博

私は大宮の市街地(現さいたま市大宮区)で生まれ育ちました。そして、今から35年ほど前、大宮側の飯田新田に住む当時90歳近い古老から、明治43年(1910)の大洪水をはじめとする荒川との関わりについて伺いました。そのテープがあることを思い出し、聞き返してまとめてみました。

①明治43年以前…政治的かけひきの見え隠れする堤防の高さ規制。 ちょうど荒川が蛇行する場所にある飯田新田では、年に7~8回、少なくとも3~4回の出水がありました。江戸時代から大宮側は旗本伊奈氏の知行地、対岸は川越藩領で、大宮側の堤のかさ上げが禁じられていました。しかし、時々、夜こっそり土盛りをしに行っただけでもあったと言います。

②明治43年の大洪水…雨量、風向き、降り続く雨、悪条件の重なった大洪水。 200mm以上の雨、辰巳(南東)の風(秩父方面にぶつかり雨を降らせ水量が増える)、8月2日から10日間ほど降り続く雨で飯田新田では、水位が1.5m~2mにもなり舟で家の中に入りました。夏のため配給のおにぎりもすいて(腐って)しまい食べられず、七輪を舟の上に置いて麦飯を炊いて食べました。飯田新田では毎年くる水害への備えがあったため、亡くなった人はいませんでしたが、一軒家が流され、家畜も流されました。カイコも桑の葉がとれないので捨ててしまいました。



改修工事の作業中(大宮市『大宮の昔と今』)



斎藤治水翁顕彰碑



荒川の改修図

③河川改修のための働き…斎藤祐美(治水翁)を埼玉県議会に当選させるための選挙運動。 村人たちが徳川家康お手植えと言われた東照大権現の大ケヤキを600円(当時米一俵4円ほど)で売って選挙資金としたり、自転車で笹目(戸田市)、膝折(朝霞市)方面にビラを貼ったり配ったりの選挙運動をしました。現在、治水橋のたもとに顕彰碑が建っており、彼の治績を伝えています。

④荒川の改修工事…利根川改修工事指導者の下、近隣の農民がシャベルで改修の手伝い。 掘削機、機関車、馬、トロッコが大活躍。荒川を掘った時は、今の三分の一位の川幅で、大人の足が川底に着く位の深さ。大正7年改修に着手。同9年に用地買収開始、同10年から上流の湯木方面より掘り始め、掘っている間は旧河川に流しました。川筋に住んでいた人たちは国に土地を売って近辺に移転しました。村人は改修工事で一日働くと1円30銭位、馬を出すと5円50銭位貰えたと言います。その間も農作業は続けられ、大正15年5月17日通水。しばらくは川幅も狭く浅かったので牛も人も川の中に入って渡ったと言います。その後は、水の勢いも増し、渡し舟で行き来するようになり、今の流れになりました。

⑤治水橋開通…有料渡し舟から、交通量増大のため治水橋開通へ。 昭和6年に着工し、同9年に完成しました。大宮方面からの交通の便が良くなりました。

古民家のなつわし 冬編

昔から人々は、お正月を挟んで年神様（その年の五穀豊穡を司り、人々に健康や幸福をもたらす神様）を迎えるために、様々な行事や風習を行ってきました

1、すす払い（大掃除）・・・年神様をお迎えする前に笹竹で神棚や屋内のすす払いをします。一般的に十二月二十日前後。

2、門松・・・年神様が迷わずやって来るための目印で、玄関前に雄松と雌松を左右一対に並べます。古くから松は神の宿る木とされており、さらに縁起物の竹や梅が添えられるようになりました。門松を飾っておく期間は年神様がいらつしやる期間となるので、これを松の内（一般的に一月七日まで）といい、年始の挨拶、年賀状、初詣などは松の内にされるのです。

3、注連縄、正月飾り・・・ここは年神様をお迎えする神聖な場所ですという意味で注連縄を張ったり正月飾りを飾りました。

その他、鏡餅、初日の出、おせちなども年神様を迎えたり、おもてなしをしたりする風習に当たります。



すす払い



正月飾り

③室内にある道具類の説明や、クイズ。更には、昔の慣わしやお話、生活の様子、縄など、状況に応じて幅広い話題で、炉辺サロンを行いたいと思っています。

第1回は8月で「薬草茶の日」として、市民学芸員が自作したドクダミ茶・ゴーヤ茶・ハーブ茶を味わって頂きながら、炉の効用、昔の薬草の話などをしました。

第2回の9月は「柿の日」として、旧金子住宅前庭の「ツルッコ(鶴の卵の意)」という名の柿や、薬草茶を味わって頂きながら、炉や昔の生活のお話しサロンでした。



おもしろ・なつかし体験 ③1

第三土曜は「いろりの日」

このコーナーは、難波田城公園での体験事業やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

旧金子家住宅に小さな囲炉裏があります。この囲炉裏は、移築に際して古民家の雰囲気をもよりよく味わって頂くため新しく設けたものです。草葺の古民家の屋根材を守るためには、囲炉裏の火・煙が必要なのです。

管理上の関係から土・日・祝日は火を焚いていませんでしたが、市民学芸員が数多く活動できる第三土曜の午後を「いろりの日」と定め、火を焚き炉のそばで、来園者の皆様と親しく交流することにしました。

園内ガイドでは触れることの少ない①古民家の構造・付属物 ②土間にある用具類

人の創った道具★人の使った道具

このコーナーでは、当資料館所蔵の資料を紹介いたします。今では使われなくなった道具からわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

10年間のいただきもの

10月16日から12月26日まで開催している「平成22年秋季企画展 10年間のいただきもの」の展示資料の一部を紹介します。

多くのいただきもの

開館してから10年の間に非常に多くの方から歴史・民俗資料を寄贈していただきました。数え方により数字は動きますが、184の個人・団体から、6300点以上の寄贈をいただいています。

今回の展示では6つのテーマに沿って選んだ38点の資料を紹介します。

これも文化財

ありふれた道具ほどかえって後世に残りにくいものです。写真1は昭和30～40年代に流行した赤ん坊用の歩行器です。

同じようでも

複数の方から同じ種類の道具を寄贈していただくことがあります。一見、同じ物に見えま

すが、機械生産される前の道具は、ひとつとして同じつくりのものはありません。写真2の千歯こき（脱穀の道具）も、6点の展示品がすべて違う特徴を持っています。

こんな資料も

資料台帳をながめていると、「おや、こんなものも」という資料にめぐりあいます。

写真3の甲冑は、寄贈者の先代が群馬県で入手しました。胴の構造などから仙台藩に由来するようです。背景の幕も、竹ノ内工業団地からの寄贈品です。



写真1 歩行器



写真2 千歯こき



写真3 甲冑

これも歴史の証人

古いものだけが文化財ではありません。つい最近まで使われていたものでも「こういうことがあった」「こんなものが使われていた」という歴史の証になる



写真4 団地の畳ほか

ものは文化財といえます。写真4には、鶴瀬団地で使われていた畳や、統合で姿を消した上沢小学校の看板などが写っています。

思い出を残す

寄贈品は、多くの場合に記憶をともなっています。いつ、どこで、だれが、なんのために手に入れ、どのように使ったのか。そのような記憶が資料の価値を高め、生き生きした存在としていきます。



写真5 貝殻を潰した石臼

写真5の石臼は、本来は水車用でしたが、畑（貝塚）から出てきた貝殻をつぶしてニワトリのエサにするために使ったといえます。貝塚が多い富士見市ならではのエピソードですね。

そこにもいただきもの

特別展示室以外にも、この10年間のいただきものは、公園内のそこかしこに展示されています。



写真6 地固め石

写真6の地固め石は、旧金子家前庭の植木のかげにひっそりと置いてあります。

今回展示できなかった資料も含め、寄贈者の皆さまに心から感謝申し上げます。

冬のイベント予定

●古文書講座(初級編)

江戸時代の古文書を解説しながら、当時の歴史や文化を学びます(全3回)。

日時 1月23日(日)・30日(日)、2月6日(日)

時間は、いずれも午前10時～正午

会場 難波田城資料館講座室

講師 宮原一郎氏(國學院大學講師)

定員 20人

●子ども書初め練習会

書初めの本番にそなえ、練習しましょう。書道サークルの方々による指導もあります。時間内であればいつでも参加出来ます。予約もいりません。

日時 12月23日(祝)午前10時～午後3時

会場 難波田城資料館講座室

持ち物 書道セット、書き初め用紙

協力 硯友会

●ふるさと体験「正月飾りづくり」

家の玄関に飾る、正月飾りを作ります。(2面参照)

日時 12月26日(日)午前の部 10時～正午

午後の部 1時半～3時半

定員 各15人(申込み順。市内在住・在勤者のみ)

参加費 1,500円(材料代)

持ち物 はさみ

申込み 12月1日(水)午前9時から直接又は電話で

●企画展情報

秋季企画展「10年間のいただきもの」

開園10周年を記念して、この10年間に寄贈していただいた、さまざまな資料を紹介しています。

会期/10月16日(土)～12月26日(日)

会場/難波田城資料館特別展示室

●なつかしの自転車紙芝居

資料館の中に展示してある自転車紙芝居で紙芝居を見られます。参加費無料です。

お話の内容は、来てからのお楽しみです。

日時 12月5日(日)

①午前11時～

②午後1時～

③午後2時～

協力 わんだ一民話らんど



●ちよっ蔵市 もちつき実演と販売

年末恒例の餅つきと餅の販売を行います。餅つきの体験もできます。

日時 12月23日(祝)午前11時～午後1時

会場 旧金子家住宅

主催 難波田城公園活用推進協議会

●ちよっ蔵市

(難波田城公園活用推進協議会主催)

12月23日(日) もちつき実演ともちの販売

2月27日(日) 手打ちうどん

※時間は午前11時から。売り切れ次第終了です。

年末年始の休館のお知らせ

資料館と古民家は12月27日(月)から1月5日(水)まで休館です。公園は無休で、午前9時から午後5時まで開園しています。



<閉園時間について>

10月から3月の間、公園の閉園時間は午後5時です。資料館と古民家の閉館も午後5時です。



編集・発行/富士見市立難波田城資料館

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1 Tel. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

富士見市役所公式ホームページ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

◆資料館休館日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土曜日・日曜日を除く)、年末年始 開館時間/午前9時～午後5時

◇公園休園日/なし 開園時間/午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)